

ほっととーく

49



村田 典文さん
(東栄町東 五十五歳)

全国新酒鑑評会で

金賞を受賞



びん詰め作業の様子

豊栄市内には、三社の酒造会社があります。市の特産品の一つであるお酒は、各種の鑑評会で高い評価を得ています。平成十一酒造年度(第八十八回)全国新酒鑑評会では、(株)越後酒造場の吟醸酒「越乃八豊」が最高賞の金賞を受賞しました。同社専務の村田さんにお話をうかがいました。

村田さんから案内していただいた酒蔵は、室温十五度と涼しく保たれていて、人の背丈ほどの大きな酒樽がたくさん並んでいました。

「新潟県は米、水、気候が良いのでおいしいお酒ができます。しかし、全国には約千五百の酒蔵があり、上位入賞はなかなか難しいですね。今回の金賞受賞は数年ぶりです。受賞したお酒は、五十%以上削った米が原料です。これを越後杜氏たちが三十日以上かけ、二十四時間体制で十度以下の低温に保ちながらゆっくりと発酵させます。これにより豊かな香りが生まれてきます」と、村田さん。村田さんは、長崎県出身で、豊栄市に赴任して七年目になります。

「初めて豊栄駅に降り立ったときは、駅前や商店街に人影がなく、学生時代に見たマカロニ映画で砂漠の中の寂れた街を老人と子どもが強風の中を歩くシーンを一瞬思い出しました。会社の印象も、薄暗くて、汚い、従業員に笑顔がないと、手帳にメモしていました。また、なんとかせねばとも書いていました」と、赴任当時を振り返ります。最初の二年間は、人材育成や資金繰りが大変で、精神的にも、肉体的にも一番疲れた期間だったという村田さん。今ではその苦労も報われ、会社の業績は順調に伸びて、全国各地でお酒が販売され、現在ではニューヨークやサイパン、グアムなど海外でも販売。

村田さんのモットーは「遊び心を忘れずに学ぶ」。忙しい中にも時間を作り、おいしいお酒を造るために、あちこちへ出かけるそうです。また、常に活字を読むことだといいます。そんな村田さんの活力源は、「市内の移動には自転車が一番と、愛車の自転車です。市内の散策。さらに仕事の後にスポーツクラブで汗を流し、おいしいお酒を飲む」ことです。

最後に村田さんは、「十月になると、酒造りの季節が始まります。人生泣き笑い、さまざまな場面で、真の「応援酒」となることを目標に、これからも一本一本真心をこめてお酒を造っていきたい」と、話してくれました。

ありがとうございました

○図書館応援団(代表 佐藤博司さん)が図書館購入資金として七月三十日に開催された図書館まつり「本の市」の収益金三万二千六百七〇円を寄付。

○あべスポーツが社会福祉資金として二万三千元を寄付。

○豊栄市建設業協会青年部(部長 佐藤隆昭さん)が豊栄市交通安全対策協議会(会長 小川竹二)に横断旗五百本を寄付。

人権擁護委員に表彰

関根さんと間野さんは、人権擁護委員としての永年の功績により表彰を受けました。

法務局人権擁護局長感謝状



関根 昭夫さん
(72歳・浦木)



間野 昭明さん
(69歳・早通南三)

新潟県人権擁護委員会会長表彰

ごめいふくをお祈りします

- | | | | |
|-----|-----|-----|--------|
| 首藤 | 芳次 | 六七歳 | 内沼 |
| 安達 | ヨキ | 七六歳 | 大迎 |
| 山田 | 二次郎 | 八七歳 | 太子堂 |
| 澁谷 | ノエ | 九四歳 | 上黒山一区 |
| 中村 | ミチ | 八九歳 | 下黒山 |
| 田村 | ミチ | 六四歳 | 笹山 |
| 丸山 | 喜八 | 九五歳 | 中大口 |
| 渡邊 | 源太郎 | 八二歳 | 川端町 |
| 山崎 | 修平 | 六七歳 | 塚 |
| 高橋 | ハルノ | 八六歳 | 正尺 |
| 五十嵐 | フミ | 七九歳 | 自新町三丁目 |
| 井上 | 貞雄 | 六九歳 | 柳原 |
| 渋谷 | 徹也 | 七二歳 | 高森 |
| 渡邊 | フミ | 六七歳 | 太子堂 |
| 難波 | 三男 | 五〇歳 | 尾山N |
| 青柳 | ハツ | 九〇歳 | 中嘉山 |
| 丸山 | スイ | 八九歳 | 浦ノ入 |
| 新保 | 正博 | 六七歳 | 川西四丁目 |
| 笹川 | 清彦 | 六〇歳 | 早通北六丁目 |
| 小島 | 清徳 | 五三歳 | 中嘉山団地 |
| 藤田 | 昌志 | 七八歳 | 中嘉山団地 |
| 小島 | トミ | 七六歳 | 高森 |
| 長松 | 榮一 | 六八歳 | 下早通 |
| 浜矢 | 忠夫 | 七二歳 | 早通南三丁目 |
| 廣瀬 | 陽一 | 六八歳 | 早通南四丁目 |

※ここに掲載したのは八月中に死亡届けのあったものです。掲載について都合の悪い場合は、市民生活課市民係へお申し出ください。なお敬称は省略します。

通信

WAKKESHO

わっけしょー豊栄の方言で若い人



勤務先 豊栄サティ (法花鳥屋)
データ/21歳 B型 ふたご座
趣味 スノーボード
好きな男性のタイプ 体育会系で明るい人

斉藤 真紀さん (川端町)

豊栄サティの食品売場でチェッカーをしています。チェッカーとは、レジ係のことです。3年前に、この職場に勤めていた友人に誘われたのがきっかけです。家から職場が近いこともいい条件でした。今では慣れましたが、最初は立ち続けることがとても辛く大変でした。

ほとんどの商品値段は、商品のバーコードで計算します。しかし、値引きなどの商品は別で、レジスターに通す前に、レジスターにあらかじめ手での登録が必要となります。そのほかにも手で価格を打ち込む場合もありますので、間違いの

ないようにと、確実性を常に心がけています。また、お客様に商品の場所を聞かれたら、正確に伝えられるように、努力しています。さらに私のレジ係は、買い物をしたお客様が、最後に訪れる場所です。また明日も気持ち良く買い物をしていただくために、疲れた顔を見せないようにしています。お客様が私を覚えてくれて、声をかけてくれたときはとてもうれしい。

体を動かすことが好きなので、夏は海へ、冬はスノーボードに出かけています。

※このコーナーでは、市内の事務所に勤務して2~3年くらいの新人さんを募集中です。

俳句 市民文芸

胎の児に叱られてゐる袋掛	長戸呂坂井 耕月
梅雨寒や人の心のうらおもて	下土地亀 田辺 麦甫
豊饒と生きて候青嵐	東栄町 鈴木 敏郎
推敲の末は元の句ねじり花	須戸 斉藤 勉
木曾節を聴く夜夏炉囲みけり	朝日町 寺井 典子
梅雨晴間妻に従う畑仕事	長戸呂 小林 真砂
背負児が石の重さになる昼寝	高森新田 阿部 美泉
下駄の緒が足に馴染みて藍浴衣	尾山 江田 豊子
五千石句牌に懸かれる虹の橋	太田 長谷川逸雄
散るといふ事ゆるされず水中花	柳原 志田さたを

展示



ニュータウンの風景 (紙・水彩 40x54.5cm)

金子哲夫さん (七十四歳 早通南二)

新緑のまぶしいころ、新しく造成されたテューリップニュータウンの遊歩道を描いてみました。遊歩道の立ち木、電柱、街灯の縦の線がもしろいと感じました。最近では抽象画に注目しています。近いうちに、直線を多用して、絵画空間を生かす抽象画を描いてみるつもりです。